

動物由来感染症を防ぐために：犬を飼っている人へ

●犬で注意したい動物由来感染症

パストレラ症	犬や猫等の動物の口の中等で普通に見られる細菌による病気です。犬猫は感染しても多くは無症状ですが、保菌した動物からの咬傷やひっかき傷、口移しやキスすることで人に感染することがあります。咬まれたところが腫れ、急速に皮下に炎症が広がります。まれに、敗血症に進行します。
皮膚糸状菌症	糸状菌という、カビによる皮膚疾患です。表皮が剥がれたり、かゆみのある水疱が出来ることがあります。人から人へも伝染します。
エキノコックス症	寄生虫による病気で、肝臓に寄生し、進行すると肝機能障害を起こします。日本では北海道のキタキツネが主な感染源で、糞便に汚染された水や食品を口にする事で感染します。北海道で犬を野原等に放すと感染した例があります。
カプノサイトファーガ感染症	犬や猫の口の中に普通に見られる細菌による病気です。犬猫は感染しても多くは無症状ですが、保菌した犬猫からの咬傷やひっかき傷から人に感染します。傷口をなめられて感染するケースもあります。発熱、倦怠感、腹痛等を起こし、まれに重症化して死亡することもあります。
コリネバクテリウム・ウルセランス感染症	細菌による病気で、本菌に感染した犬や猫との接触や飛沫により感染します。感染初期は発熱、鼻汁等風邪に似た症状で、その後咽頭痛や咳が出ます。重症化すると死亡することもあります。
ブルセラ症	細菌感染による病気で、感染した犬の死産胎児やそれに伴う排泄物、尿や精液等を介して人に感染します。人での症状は風邪のような症状で軽度なことが多いですが、濃厚感染で重症化することもあります。
レプトスピラ症	細菌感染による病気で、人には感染した犬やネズミ等の尿、尿に汚染された水や土壌から皮膚や粘膜を通過して感染します。犬では全身感染を起こし、発熱、筋肉痛、腎炎、黄疸等を起こして死亡する例も多いです。人でも同様に、発熱、筋肉痛を起こし、重症化すると黄疸や腎機能障害が認められます。
重症熱性血小板減少症候群（SFTS）	主にマダニに咬まれることで感染します。西日本で患者報告が多いです。発症した犬猫の体液からも人に感染することがあります。全身倦怠感、消化器症状等を起こし、時に意識障害や出血症状が出ます。重症化すると死亡することがあります。特に高齢者は重症化しやすいので注意が必要です。
狂犬病	ウイルスを原因とする感染症で、日本国内では1957年以降発生が確認されていませんが、海外で犬に咬まれて感染した方が帰国後亡くなったケースがあります。今後も国内での発生を防ぐ為には、飼い犬の狂犬病予防注射の接種率を高い水準で保つ必要があります。 初期は風邪に似た症状で、その後不安感、恐水症、興奮、麻痺、錯乱などの神経症状が現れ、発症すると100%死亡する恐ろしい病気です。世界のほとんどの地域で発生しており、死者は年間約6万人に上ります。

●動物由来感染症から人と犬を守るために

・犬は登録を行い、狂犬病の予防接種を年1回受けさせましょう。

狂犬病予防法により、飼い犬は登録した上で、年1回の狂犬病の予防接種が義務付けられています。登録の際配布される鑑札と、予防接種を受けた際に配布される注射済票は首輪等に装着し、登録と狂犬病予防注射がされている犬だとわかるようにしましょう。



・ノミダニの予防をしましょう。

ノミやダニは病気を媒介することがあります。思わぬところでノミやダニをもらってくることもあるので、予防を心がけてください。予防薬についてはかかりつけの獣医さん等に相談してください。



・ひろい食いをしないようにさせましょう。

動物の糞等で汚染されたものを口にすることで感染する病気があります。
ひろい食いをさせないよう注意しましょう。

・外では必ずリードをつけましょう。長いリードを伸ばしっぱなしにしないようにしましょう。

普段大人しい犬であっても、何かのきっかけで人や他の犬に飛びついたり、咬んだりすることがあります。また、飼い主から離れた状態になることで、他の犬や動物に襲われるケースもあります。咬み傷から感染する病気をお互い防ぐ為にも、外では必ず制御出来る長さのリードをつけましょう。



●もし犬に咬まれたら・・・

傷口は流水でよく洗い流し、清潔にしてください。

犬に咬まれた場合は、軽傷の場合でも早めの病院での受診をおすすめしています。特に野良犬等病気を持って

いる可能性がある犬に咬まれた場合や、乳幼児、妊婦、高齢者、その他免疫が低下している恐れのある人が咬まれた場合については、速やかに医師に相談してください。

犬の口腔内は雑菌が多く、咬まれた場所が数日後腫れあがることがあります。

咬まれて数日以内に痛みが強い、傷口が腫れて来た、ひきつけや息苦しさを感ずる等、体調に異変を感じた場合は、速やかに病院を受診してください。

●もし自分の飼い犬が人を咬んでしまったら……。

動物管理センターに飼い犬事故届出を行う必要があるため、まずは動物管理センターまでお問い合わせください。また、その際飼い犬が狂犬病に罹患していない旨を証明する獣医師が発行した診断書が必要になります。かかりつけの動物病院を受診し、診断書が発行してもらってください。



お問い合わせ先

姫路市動物管理センター

電話 079(281)9741

FAX 079(281)9841